

Angler s Project 放流会 2004 報告

2004年の11月21日は何か特別な日となったようだ。この過去2年間はいずれも雨、雪に見舞われて、お世辞にもベストな天候の下でのイベントとは言えなかったが...

Release 放流

今回の放流箇所は高津・筒賀・三段峡・八幡の4つ。それぞれヘッド・リーダー(以下 HL の元気のいい掛け声のもと一斉に行われた。

まずは、高津 HL 松前さん 大人 14 名、 子供 1 名

放流魚種 やまめ 放流金額 \ 84, 000 (2513 匹)

次に、筒賀 HL 藤江さん 大人 6 名

放流魚種 あまご 放流金額 \ 54, 000 (540 匹)

そして、三段峡 HL 大上さん 大人 7 名、 子供 2 名 ランチ班の子供 4 名

放流魚種 あまご 放流金額 \ 81, 000 (50kg 約 250 匹)

それから八幡 HL 竹田さん 大人 13 名、 子供 4 名 \ 62, 000 (500 匹)

総計 大人 40 名 子供 11 名 3803 匹 \ 281, 000

放流金額ですが、今回も多大なるご好意をいただきました。本当にありがとうございました。

ボトル資金 \ 106, 940 佐々木ひろ子さん \ 87, 260 山本秀正さん \ 33, 000

中村敏樹会長さん \ 10, 000 三段交遊会さん \ 16, 000 その他 19 名さん \ 28, 400

Lunch ランチ

最後にランチ班も大健闘。会場は聖湖キャンプ場。柳田さんをはじめとする 6 名の方々に暖かい料理を作ってくださいました。メニューはチーズ入りのシチュー、ダッチオーブンで焼いたチキン、ヤキソバ、バイクド・アップル。美味しかったですよ。また、おにぎりと煮しめは三段峡お袋弁当さんからの提供です。

ランチ会費の収支

徴収人数	大人 46 名	子供 11 名
合計入金金額	/ 51, 500	
出費	/ 23, 375	
残金	/ 28, 125 (次回の放流資金としてボトル入金)	

Planting

植 樹

植樹を手伝ってくれた 10 数名のこどもたち、寒かったけどありがとう。 聖湖の山の斜面に将来の夢を託してくれた、ちっちゃな手足を精一杯動かしてくれました。 木の生涯とともに君たちの将来の幸せも祈りたいと思っています。

Donation

寄 贈&寄 付

今回の放流会を盛り上げるにあたって寄附品をありがたく頂戴しております。 ロッド、ベストなど喉から手が出そうになるものばかりでした。 紹介させていただきます。

乗原さん(福岡) 原口さん(東京) 脇田さん(廿日市) 辻さん(廿日市) 西村さん(広島) 浦見さん(広島) 佐々木さん(広島) 山脇さん(広島) 山本さん(三原)

尚、脇田さんから AP に寄贈いただいたビール2ケースについて。 1ケースは寒い湖畔に薪とドラム缶の算段をひて下さったフリスボット大谷の岩本さんにもう1ケースは先述した膨大な量のおにぎりど煮しめを快く提供して下さいました三段峡お袋弁当の柳田さんのものに届けられました。

Essay ミニエッセイ

今年は秋が長いせいか、山間の早朝においても吐く息が白いなんてことはない。車のリヤシートに放り投げてあるダウンジャケットを着ることもなさそう。朝 5 時に家を出た。カーコンポから流れてくるのはシェリル・クロウ。アコースティック・ギターにからむ彼女の田舎くさいハスキーボイスがどことなく、未だ眠っている脳には丁度いい。あれからはや 1 年が過ぎた。去年は川の横にあるハッチのまえで料理を担当した。織り成す四季から豊かな自然の恵みとともに健やかに育った渓魚たちとの数々の出会いがあった。また、今年 1 年ぶりに合う面々も多い。

T 村に着いた。谷間から流れ出す清流の流れは透き通るほどに清冽だ。その岩肌の根元のポケットに目をくれてやると、深く暗い小世界が目に見えた。僕の傍らでは枯れたススキの穂がカサカサと揺れている。手に取ったバケツの中では小さなやまめが今か今かと自由になる瞬間を待ちわびている。

僕はそっとバケツを水面にひたし、川に命を吹き込んだ。自然よ、ありがとう。ジャケットの袖口に吹き込んだ微かな風にそっと話しかけた。

めぐる季節に感謝した……。

2 0 0 4

Reporter

Akira Ikegami